



入江あき子

いのちと暮らし 最優先の県政に

1月26日、佐倉市と酒々井町において電話による住民アンケート調査を実施し、597件の有効回答を得ることができました。調査結果から見た現状や課題をお伝えします。

調査結果は？

老後の生活や 健康が不安

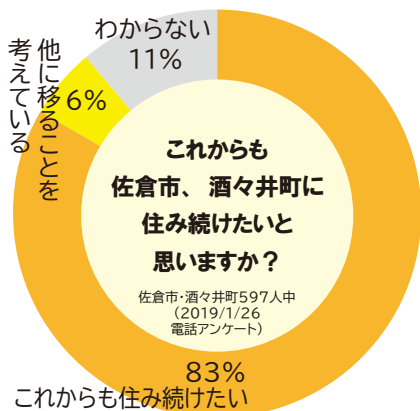
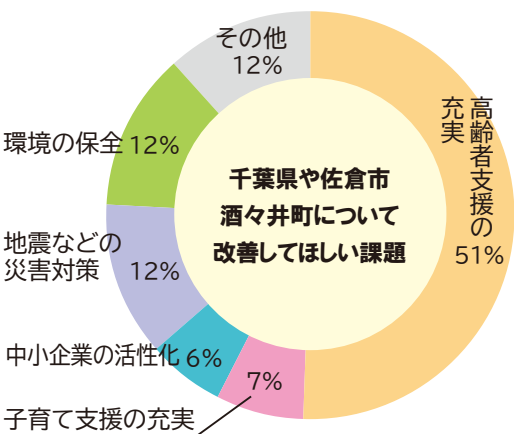
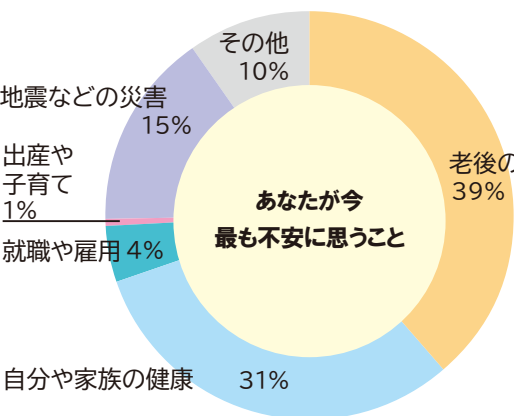


何が問題？
・医師 看護師不足
・進まない
「地域包括ケア」



回答者の約6割が70歳以上ということもあり、いま最も不安に思うことが老後の生活や自分や家族の健康で7割を占めました。高齢者支援の充実が切実に求められています。

全国2番目のスピードで高齢化が進む千葉県。特に、佐倉市や酒々井町を含む印旛地域は県内で最も高齢者が増加し、急速に医療ニーズが高まります。しかし、訪問診療を実施する病院や診療所は県内で767カ所、訪問看護ステーション



は308カ所と少なく、いずれも全国44位。

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、医師・看護師・介護職などがネットワークをつくり、一人ひとりを支える「地域包括ケア」の体制を広げていかなければなりません。しかし、そのための人材が圧倒的に不足しています。

実績 入江あき子の

全国で3番目に少ない医師や看護師の数を増やすためには、個々の医療機関の努力だけではなく県の積極的な取り組みが必要です。私は以下の政策を提言し、実現につなげてきました。

総合診療専門医の 養成・確保

提言1

患者の身体を内科や外科などの垣根を超えて全人的

実現

その結果、総合診療専門医の養成プログラムへの県の財政支援が始まり、研修医も少しずつ増加。その数をさらに増やし、千葉の医療現場で活躍してもらうために働きかけていきます。

在宅医療の 受け皿づくり

提言2

印旛地域の在宅医療の需要は2025年で約7千人。その10年後には、約9千人とピークを迎えます。しかし、訪問診療を行う診療所や病院がなかなか増えません。在宅医療を広げるため

千葉県内の状況

(人)	現状 2016年	2025年 必要数
医師	11,843	13,470 ~ 14,580
看護師	41,997	68,620 ~ 79,110
介護職 ※	76,792	109,785

※訪問介護員および介護職員
千葉県健康福祉部資料に基づき作成

入江あき子のプロフィール

1965年 仙台市生まれ
1988年 国際基督教大学(ICU)教養学部社会科学科卒業
セイコーインスツル株式会社勤務
2003～2011年 佐倉市議会議員
2011年4月 千葉県議会議員(現在2期目)
・健康福祉常任委員会委員
・会派「市民ネット・社民・無所属」代表
・自治体議員立憲ネットワーク所属
・千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属
・千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属
・ハッパダムを考える1都5県議会議員の会事務局長
・核兵器廃絶をめざす千葉の会副代表

今後、病院や地区医師会等への具体的な働きかけが課題です。

実現

2017年度に新規事業として、開業医や勤務医を対象に訪問診療の知識や経験をj得るための研修、経営等の助言を行うアドバイザー派遣事業が実施され、着実に成果が上がっています。

2018年度には、地区医師会における在宅医療コーディネーター設置支援や病院併設型の訪問看護ステーションへの助成もスタートしました。

には、医療現場の負担や不安など実態を把握し、県が支援する必要があります。そのための取組みを求めています。

2015～2018年 県議2期目で実現したこと

子ども・教育

奨学資金貸付制度の延滞利息14.5%を5%に引き下げた。

スクールソーシャルワーカーの拡充。

県立高校普通教室への県費によるエアコン設置。
(2019年度より全校で実施予定)



県立高校施設の現地調査

老朽化した県立学校の校舎・グラウンド等の整備費を大幅に増額させた。
(佐倉南高校図書室のエアコンを整備。佐倉高校図書館棟の建替えを要請中)

医療

医療・介護の連携、在宅医療を進めるための事業を拡充。

医師確保のための修学資金貸付制度を拡充。

印旛保健所の結核事務コンプライアンス違反を調査し、結核の蔓延防止策を強化させた。



佐久総合病院 色平哲郎医師と

福祉

児童相談所・一時保護所の専門職を増やし、施設環境を改善。

福島原発事故区域外避難者への住宅支援打切りに対し、避難者らと県交渉を重ね、県営住宅「避難者枠」の新設につなげた。



市川児童相談所・一時保護所を視察

カラーユニバーサル(色弱のある人への情報保障)のガイドライン策定。

性暴力被害者ワンストップ支援センターの開設。

環境・まちづくり

県内における再生土埋立ての規制強化を求め、2018年9月に条例化。

県道の冠水箇所の解消、危険な歩道の改善、橋梁の耐震化・長寿命化を進める。

汚染土壌埋立事業(鋸南町)を地元住民とともに阻止。

千葉市と袖ヶ浦市に計画されていた石炭火力発電所の問題点を追求し、撤回させる。

県有施設における農薬・薬剤使用状況を毎年調査し、使用量を削減させる。



歩道の危険箇所改善



佐倉市神門 再生土埋立て現場



原発・石炭火力NO

入江あき子の政策

水と緑を守ります

- ◆ 佐倉・酒々井の美味しい地下水を飲み続けられるよう「千葉県環境保全条例」を見直します。
- ◆ 環境保全型農業で、印旛沼の浄化や水循環の健全化を進めます。
- ◆ (仮)千葉県種子条例をつくり、イネ等の千葉固有の種子を守ります。地産地消を進め、食の安全や持続可能な農業につなげます。
- ◆ 産廃・残土・再生土埋立てを厳しく規制します。



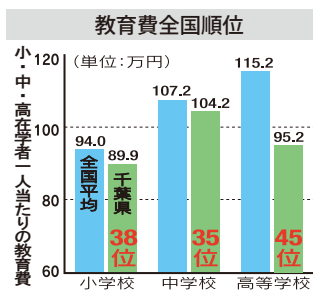
残土埋立事業抗議デモ



千葉県農林総合研究センター成東育成地
イネの原原種栽培を見学

子どもが輝く社会に

- ◆ 待機児童の解消と保育の質の向上をめざします。
- ◆ 児童虐待を防ぐため、親の孤立を防ぎ、子どもは社会全体で守ります。
- ◆ 個人の尊厳を大切に、すべての子どもが安心して学べる教育環境をつくりまします。
- ◆ 全国でも低い千葉県の教育予算を、引き上げます。

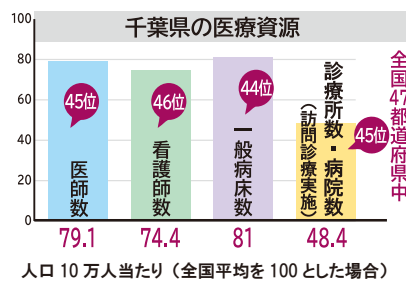


県立定時制高校夜間給食を試食 前川喜平元文科省事務次官と



一人ひとりに寄りそう 「地域包括ケア」を進めます

- ◆ 医療・介護・福祉・保健の連携による「地域包括ケア」を進めます。
- ◆ 医師・看護師の養成・確保を進め、地域医療を充実させます。
- ◆ 総合診療専門医や訪問看護ステーションを増やし、在宅医療を広げます。
- ◆ 障がいのある人もありのままだに地域で暮らせる支援を進めます。



県立佐原病院で在宅医療を学ぶ

防災・再生可能エネルギーを進めます

- ◆ ゲリラ豪雨等による洪水被害を防ぐため、堤防強化などダムに頼らない流域治水の実現をめざします。
- ◆ 再生可能エネルギーの地産地消を進め、原発の完全中止を求めます。
- ◆ 市民による「ご当地電力」を応援します。



全国初「流域治水条例」を制定した
嘉田由起子前滋賀県知事と



佐倉市水防訓練

希望ある未来に

- ◆ 民主主義、市民自治、平和主義の実現をめざして活動します。
- ◆ 集団的自衛権行使の安保法制廃止を求め、平和憲法を守ります。
- ◆ 核兵器禁止条約の署名・批准を政府に働きかけます。



沖縄県議との意見交換

千葉県議会議員 入江あき子の政務活動リポート

住所 〒285-0846 佐倉市上志津 1722-2
電話 043-312-8760 FAX 043-312-8761
URL <https://irieakiko.jp/> mail groundwater.sakura@gmail.com



入江あき子サイト